

評価項目	評価項目 No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.59	3.88	昨年度比+0.02 今年度「わからないことはわからない」といえる学級の実現に向け、教職員が共通行動・共通理解を教育活動を実施できた。
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	3.36		昨年度-0.26 各学年の反省をもとに掲げた学校グランドデザインを1学期末・2学期末と振り返り、各手立ての見直しを行った。より組織的な改善策の立案をしていけるようにしていく。
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.55		昨年度比-0.07 伝統ある体育授業・体育環境の改善を中心に行った。働き方改革・コロナ禍で制限があり運動の機会の減少はあげられる。
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	3.50	4.00	昨年度比-0.07 校長の考える学校像の中に、児童の未来について打ち出している。今後はそれを各学年・各授業の中で具体的な手立てとして打ち出せるようにしていきたい。
	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.55		昨年度比-0.12 毎月の倫理確立委員会の実施をしている。さらに、自分事としてとらえられるような取組が必要である。
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.68		昨年度比-0.01 お互いの授業を見合う月例研修や学力向上研修を行うなど、教職員の指導力向上を行うことができた。
授業等の状況	7	学校は、児童生徒の実態を把握し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	3.41		昨年度比-0.22 「ざっばらんな話し合い活動」を今年度力を入れて実施してきた。今後はより高めあえる話し合い活動の充実を目指していく。
	8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.27		昨年度比-0.07 彦小タイムを使って全学年統一した学習がすすめられた。学年ではノート指導案を共有し共通した授業展開ができるようにしたが、徹底できなかったことが課題である。
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.55		昨年度比-0.21 授業の心得に基づいた学校全体での指導は、あまりできなかった。アンケートの結果を基にした課題解決を今後していく。
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	3.50	4.00	昨年度比+0.02 Cの学級も規律が整い落ち着いた授業が進められている。「わからないことをわからない」といえる学級経営が行われている。授業を見合う機会も多く、今日の指導力も高い。
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.32	3.29	昨年度比-0.21 コロナ対応で担任と一緒に学校図書館に借りりにしている現状があり、児童の主体的な読書活動が不十分と言え。今後は実態に応じた利用方法を検討していく。
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	3.18	3.00	昨年度比-0.4 児童が読書する時間がなかなか取れないため、国語の授業を生かした読書指導を並行して進めていく。高学年においては量より質の読書を進めているが現状、不十分である。
	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.23		昨年度比-0.22 コロナ禍で給食指導を行っていないこと、朝食摂取率について調査を行っているのが具体的な手立てができていない現状である。それを生かした指導を今後展開していく。
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.59	4.00	昨年度比-0.11 働き方改革で、朝運動・放課後運動を中止した。業間に行っている運動の充実が次年度以降の課題である。コロナ対策緩和によって児童の自由遊びの時間は増え、元氣よく遊ぶ姿は増えている。
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	3.18		昨年度比-0.17 今後とも、道徳の時間の確実な実施が行えるようにしていく。また、道徳の授業においても「ざっばらんな話し合い」を進め、道徳心を高めていく。
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	3.27		昨年度比-0.03 担任は、各学級のきめ細かい学級指導を通して道徳心を養っている。
指導・管理の状況	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.32		昨年度比-0.26 今年度「挨拶」と「廊下歩行」を重点としてきたが、指導のマンネリが見られた。児童自体は校内で落ち着いて行動できている。教師の挨拶ができていないとの保護者アンケートもあったため、さらなる意識の高揚が必要である。
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.36	3.38	昨年度比-0.26 校内でのあいさつはできるが、校外にでると挨拶できない。今後とも指導を続けていく。
	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.27		昨年度比+0.02 授業では、徹底できているが、授業外での適切な言葉遣いができていない。
	20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.59		昨年度比-0.02 複数対応で、適切な対応ができていく。未然に防げるようにアンテナ高く今後も指導をしていく。
	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.45		昨年度比-0.12 良いことも保護者につたえられるようにし、温かい目で児童の成長を見守れるようにしていく。
	22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.59	4.00	今年度新項目 毎月の生徒指導部会で共通理解、毎学期のいじめアンケートを基に、いじめの早期発見・解決に努めている。
	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.36		昨年度比-0.17 避難訓練の内容見直し、特に不審者避難訓練を警察の指導の下、実施できたことはよかった。マニュアルについては改善中である。
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	3.59	3.63	昨年度比-0.25 校内環境での大きな事故などはなかった。下校でのトラブルは依然多いため、交通安全の指導は引き続き強化していく。
	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	3.45	3.75	昨年度比-0.21 掲示物の見直しや、校内の備品整理を進めた。児童の清掃指導については学年格差がある。
	26	学校は、教職員が児童生徒と向き合うため、働き方改革を進めている。	3.45		昨年度比+0.34 朝運動・放課後運動を廃止したことで、学級事務・教材準備に使うことができるようになった。
家庭地域との連携	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.68	4.00	昨年度比-0.06 ホームページは週3回の更新を心掛けている。前年度より更新頻度は少なかった。メールからアプリでの保護者への情報手段を変更したことで、今後工夫活用をしていく。
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.45	4.00	昨年度比+0.12 親父の会計3回、おちばはきボランティアを3回実施。また、地域人材を生かした放課後彦成クラブの実施。就学時検診の親の学習の実施。また、家庭教育アドバイザーにより相談日設など、今年度新たな取り組みも数行なう。
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.55	4.00	昨年度比-0.16 限られた機会しかなかったが資源回収に多くの職員が参加できた。